

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		生活保護事務費[生活保護事務事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	3	生活保護費	目	1	生活保護総務費	事業番号	2	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		生活福祉				課 庶務・保護第一・保護第二 係		課長名		川田 貴之		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 5		
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書(ページ)		63		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 課職員					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 課の職員数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 適切な生活保護業務が遂行できる。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 都の指導検査の助言率 →						
	③ そのために何をしましたか。 適切な生活保護業務を遂行するために必要な会計年度任用職員等の雇用、消耗品等の購入、業務委託料などを計上。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 生活保護事務に必要な費用(報酬、需用費等)の総額 →						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	人	22	22	21						
	成果指標	②の数値	率	53%	71%	—						
	目 標	②の目標値	率	0%	0%	0%						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 助言率0%を目指す。※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、指導検査が簡略化され、指標の対象となる個別検討ケースの検査が実施されなかった。												
3 経費	活動指標		③の数値	円	40,590,388	42,326,703	42,077,218					
	事業費(実績)		円	40,590,388	42,326,703	42,077,218						
	財源	一般財源	円	21,219,388	22,356,935	22,163,373						
		特定財源	円	19,371,000	19,969,768	19,913,845						
	(うち受益者負担)		円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.8	2.8	2.8						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
職員人件費(再任用以外)		円	23,083,200	23,268,000	23,268,000							
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	63,673,588	65,594,703	65,345,218							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 関係法令や他法他施策の変更等により、生活保護法上の取扱いが変更となることが多く、事務が複雑化していく中で関係機関との調整等の対応が求められる。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 国・都の動向に注視し、制度に係る変更等の情報を早期に課内で共有することにより、適切な生活保護業務の実施を図る。											